

2 鏡野町の現状と課題

鏡野町の中学校は、鏡野中学校1校です。鏡野町においても少子化の影響で生徒数は年々減少しています。令和5年1月時点の部活動数は、17（内3つは特設部）ありますが、部によっては部員数が減少し、チームが編成できない年も年々増えてきています。人数が不足した場合、中体連主催の大会等には、他都市の中学校と「合同チーム」を編成し出場していますが、今後、生徒数の更なる減少が予想されます。

また、活動における生徒の安全確保のため、複数の顧問を配置しているところですが、生徒数の減少に伴う教員数の減少により、複数の教員配置を行うことが厳しい状況が生まれてきています。

そこで、更なる生徒数の減少に対して、子どもたちが安全に部活動を行うために、現在、部活動数の削減を検討しています。

令和5年度、鏡野町としては「部活動指導員」を3つの部活動に配属し、顧問の複数体制での指導を行っていますが、より持続可能な体制づくりが求められています。

加えて、現在、教員に対しても、国や県から「働き方改革」の推進が謳われ、超過勤務時間の削減が求められています。しかし、勤務時間外や休日の部活動の指導にかかわる負担は大きく、超過勤務時間を45時間以下にするという国や県の目標の達成の厳しい状況が続いています。

3 鏡野町のめざすところ

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識のもと、次の2点の達成をめざしています。

- ① 子どもたちが、地域のスポーツ団体や文化団体などに集まって、自分がしたい活動ができる。
- ② 競技経験や体験、指導経験がある人材が受け皿となることで、子どもたちがより専門的な指導を受けることができる。

加えて、地域移行を進めることによって、教員の負担を軽減し、授業やその他の教育活動により注力しやすい環境づくりをめざします。